

平成31年度

当初予算が決まりました

挑む一步を、持続する歩みへ

3月定例議会において、平成31年度予算が成立しました。一般会計は対前年度比9.5%の減、特別会計は2.4%の増となりました。

予算の規模

会計区分	31年度当初予算額	前年度比
一般会計	29億3,060万円	9.5% 減
特別会計(7事業)	13億9,850万円	2.4% 増
合計	43億2,910万円	

主な事業

自治活動支援

■ コミュニティ育成・地域自治高度化事業 予算額 120万円

集落の交流促進や地域の課題克服のための諸活動への支援を実施します。

■ ちっちゃな幸せ実現事業プラス 予算額 350万円

ふるさと納税による寄附金を活用し、まちづくり関連活動に対して支援します。

住み家支援

池田町への移住定住促進のための事業を実施します。

■ 住宅多世代化等支援 予算額 800万円

同居に伴う住宅の新增築、機能改善、古民家改修等への支援を行います。

■ いけだ暮LASSELの運営 予算額 43万円

空き家の有効活用による移住定住促進を図るため、物件に関する情報収集・提供、売買の円滑化など、移住定住サポートを総合的に実施する相談窓口「いけだ暮LASSEL」を運営します。

しごと支援

町内事業者や新規起業を支援し、地域循環型経済の確立を図るための事業を実施します。

■ 食品加工研究支援施設(食ラボ)運営 予算額 550万円

安心安全な農産物や食文化を活用した商品開発の促進・高度化と町民による商品開発製造をサポートします。

■ 地域産業等支援施設(わくらボ)の運営 予算額 346万円

個人や法人へワークスペースを貸し出すことで、町内での新事業の創出やコミュニティー活動を支援します。

■ 地域資源活用商品開発支援事業 予算額 175万円

地域資源を活用した商品開発を行う場合、対象経費の70%を補助します。(上限35万円)

■ 営業促進バックアップ事業 予算額 60万円

販路拡大のため、物販・商談・展示会等に参加する経費の80%を補助します。(上限10万円)

都市と農村の交流・観光の促進

農村の有する多様な魅力や価値を活かした交流事業を実施します。

■ 都市農村交流推進事業 予算額 609万円

農村de合宿キャンプセンターを拠点に、「農村がキャンパス、風土が教科書」をテーマとした農山村ならではの合宿・体験メニューの提供等を地域と連携しながら実施します。また、クライミングセンターの充実を図り、スポーツクライミングを通じた交流人口の増加を目指します。

■ おもちゃハウス魅力向上事業 予算額 7,505万円

農村環境を活かした木育施設として再整備し、子育て環境の豊かさの向上と、幸福度の高い池田町の子育て環境をPRします。

子育て・教育環境の充実

池田町の恵まれた自然の中で安心して子育てができるよう、子育て世代への支援と教育環境の充実を図ります。

■ 教育環境向上事業 予算額 588万円

池田町教育大綱の「育つ力を育てる」の理念のもと、子どもたちが安心して学べる教育環境の充実と、主体的・能動的に学び、自らを育てる力を養う学校教育を進めます。

■ ママがんばる手当事業 予算額 1,263万円

0歳～3歳までの子どもを持つ親に、月2万円を「いけだ応援券」で支給します。また、子ども1人につき、月1万円を現金で支給します。

■ ようこそ赤ちゃん事業 予算額 100万円

初めて出産を迎える家族の準備費用として、1人目の出産準備金20万円を支給します。

■ 入学支度支援事業 予算額 280万円

町内に住む子どもたちの就学・進学時の入学準備費用を支援します。(小学校入学時5万円、中学校入学時5万円、高校入学時10万円)

■ 子育て支援アプリ導入事業 予算額 26万円

子育てに関する情報を発信し、妊娠、出産、子育てまでをサポートするアプリを導入します。詳しくはP10をご覧ください。

暮らしの安心・安全の確保

■ 地域公共交通対策事業 予算額 4,861万円

通勤・通学バス等の定期助成や路線バスの運賃助成、なかま号の運行、町外への路線バス運行補助、4月1日より運行を開始したマイバス事業などにより、暮らしに欠かせない移動手段の確保と利用促進を図ります。

■ おでかけ支援ふくタク事業 予算額 353万円

障害等により運転が困難な方が気軽に外出できるよう、町内タクシー事業者を利用する際の料金の一部を助成します。

■ 地域防災力の向上 予算額 204万円

自警消防隊の装備充実を図り、地域の防災力向上を図ります。

